

MO I S 1期生の皆さん、進級おめでとうございます。前例のない空白の1ヶ月を経て、早いもので今日から皆さんは2年生です。

しかし、残念ながら現在、世界中で新型コロナウイルス感染拡大が日を追うごとに深刻さを増しており、感染者数の増加だけでなく、経済活動の減退、学校臨時休校の長期化など、その影響は多方面に及んでいます。このような事態の中、今夜、政府は緊急事態宣言を出すこととしており、そうなれば本校も明日から5月6日までの約1ヵ月間、臨時休校となる見込みです。そうなれば、皆さんと再会できるのは、早くてもゴールデンウィーク明けの5月7日木曜日になるでしょう。昨夜の時点では、4月10日から分散登校を実施すると改めてメール連絡網で配信しましたが、今の状況は、刻々と対応を変えざるを得ないほどの非常時だと理解してください。

さて、このような世界規模の危機的状況は、半年前までは誰も予想していませんでした。1年前の入学式で、「明日のことは予測できても50年後のことは予測できない」とお話ししましたが、実際は半年後のことすら予測できなかったのです。これから世界はどうなってしまうのか、グローバルな人と物の移動によって拡大してきたグローバル化はどうなっていくのか、相手がステルスウイルス、見えない敵であるがゆえに、先行きが案じられます。しかし、この状況はサイエンスフィクションSF映画でもなければ、バーチャルリアリティ仮想現実でもありません。これが現実であり、世界の現状なのです。

私たちのこれまでの備えは十分ではありませんでした。東日本大震災の時に、飲料水や非常食などの緊急避難用具さえ準備できていなかったように、新型コロナウイルスに対しては、いつでもどこでも安く手に入れることができたはずの使い捨てマスクすら十分に準備できていませんでした。経験した非常事態に対しては備えることができて、未経験の非常事態に対しては、私たちは余りにも無防備です。

しかし、私たちは本当に「未経験」と言えるのでしょうか？ 大地震をはじめとする自然災害は、人類史上繰り返し発生しています。ペスト、コレラ、チフス、近いところでは新型インフルエンザ、SARS、MARSなど、人類の歴史は感染症との戦いでもありました。仮に私たち一人ひとりにとっては未経験であったとしても、人類にとっては決して未経験とは言えません。様々な分野の歴史を世界中の専門家がどんなに研究していても、様々な災害を未然に防ぐことがどれほど難しいことなのか、痛感させられます。

けれども、私たちは負けません。人類は負けません。多くの人命という取り返しのつかない犠牲を払うことは時に避けることができなくても、私たち人類は激甚な自然災害からも復興するし、幾多の感染症にも打ち勝ってきました。ここ、大宮国際中等教育学校で学ぶ皆さんには、そんな人類の代表になって欲しい。そんな人類の先頭に立って欲しい。

私たちの考える「国際」「Global」は、経済競争に打ち克つことではありません。私たちの考える「Global」は、世界中の誰もが、よりよい未来を迎えることのできる世界をつくることだと考えています。皆さんが本校で学ぶ意義は、そういう覚悟をもって、そのための基礎的な力を十分に身につけて、5年後の次のステップに進むことです。

最後に皆さんに三つお願いがあります。一つ目、新型コロナウイルスに感染しないよう自分ができることを最大限に行うこと。二つ目、臨時休校中も学校に行くのと同じ生活リズムを保つこと。三つ目、毎日2回、朝と夕方に本校のホームページを確認すること。

しばらくは大変な状況が続きますが、くじけず、いやにならず、あきらめないうで、がんばって乗り切っていきましょう。この困難を乗り切った先には、今までよりも成長した皆さんの姿がきっとあるはずです。今年度の皆さんの成長を大いに楽しみにしています。